TOSHIBA
Leading Innovation

東芝安全増防爆形ナトリウム灯（安定器併置形）
東芝安全増防爆形水銀灯（安定器併置形）

取扱説明書
保管用

	ワット数	安全増防爆水銀灯	ワット数	安全増防爆高圧ナトリウム灯
定格電圧	２００Ｖ			
形名	400W	SES4025(6)-16(22)CL(PP・BL)	360W	SEN3625(6)-16(22)CL(PP・BL)
適合ランプ（別売）		HF400X, H400		NH360FL, NH360L
形名	300W	SES3025(6)-16(22)CL(PP・BL)	270W	SEN2725(6)-16(22)CL(PP・BL)
適合ランプ（別売）		HF300X, H300		NH270FL, NH270L
形名	250W	SES2525(6)-16(22)CL(PP・BL)	220W	SEN2225(6)-16(22)CL(PP・BL)
適合ランプ（別売）		HF250X, H250		NH220FL, NH220L
形名	200W	SES2025(6)-16(22)CL(PP・BL)	180W	SEN1825(6)-16(22)CL(PP・BL)
適合ランプ（別売）		HF200X, H200		NH180FL, NH180L
形名	eG1（第２種危険場所用）			
検定合格番号	Ｔ６１２５７		Ｔ６１２５８	
端子箱	ハブ４方出　ハブ寸法 G16 用（標準）		＊ハブ寸法 G22 用も製作可能です	
注　記	ＣＬ：（直付）　ＰＰ：(パイプ吊り)　ＢＬ：(ブラケット) 5(6)：5 は 50Hz　6 は 60Hz　16(22)：16 はハブ寸法 G16 用　22 はハブ寸法 G22 用 ＊ねじ蓋３個付　＊六角レンチは別途ご用意ください			

このたびは東芝安全増防爆水銀灯・東芝安全増防爆高圧ナトリウム灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。　●素人工事は法律で禁じられております。

■工事店様へ　施工上のご注意

●工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取付場所は表の防爆構造記号の発火度の範囲（G1）で第２種危険場所であること。それ以外の危険場所での使用は火災、爆発等の原因となります。
（危険場所の判定、範囲は工場電気設備防爆指針によること。）
●器具の取り付けは取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災、爆発の原因となります。
●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。

取付

腐食性ガス

●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災、爆発の原因となります。
●アース工事は工場電気設備防爆指針・電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。D種（第三種）接地工事
●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。
●メタルハライドランプは防爆検定上使用できません

改造

アース工事

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●器具については適合ランプの電源電圧でご使用ください
器具の定格電圧と電源電圧（定格±6%）・使用地域の周波数は、安定器の取り付けの際に必ず確認ください。この照明器具は安定器併置形なので安定器は不要です。他（別置形のものなど）の安定器と接続すると問題となりますのでおやめください
間違って使用しますと、ランプ、安定器、器具などの短寿命火災、爆発の原因となります。

使用環境
電源電圧

●周囲温度は、０℃～４０℃以外では使用しないでください。
火災、爆発の原因となります。

●直付・パイプ吊りの灯体は真下垂直方向に取り付けてください。ブラケットの灯体は鉛直方向 40 度以内で取り付けてください。
過熱、火災、爆発の原因となります。

温度

■お客様へ　使用上のご注意

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行って下さい。落下、感電、火災、爆発の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。周囲に爆発性ガスが存在していないことを十分確認のうえ行ってください。電源を入れたままランプ交換を行うと、感電、爆発の原因となります。

●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合は不点、火災、爆発の原因となります。
●ランプ交換で開いたグローブ保持枠は確実に締めてください　不十分な締付けは防爆性能を維持できません。そのまま使用しますと、火災、爆発の原因となります。
●点灯中及び消灯直後は、器具及びランプが高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因になります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

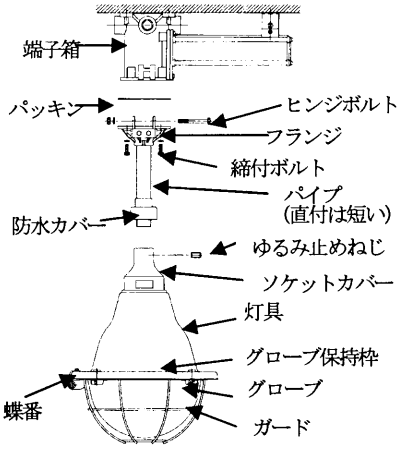
●器具を清掃する際は、布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭きとってください。
●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
●器具をガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり殺虫剤をかけないでください。塗装が変色、剥離します。また、ランプ保護カバーはクラックの発生、溶解します。そのまま使用しますと防爆性能が維持できなくなります。

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約１０年です。
（定期的に工場電気設備防爆指針の防爆電気設備の保守等による点検を実施してください。）

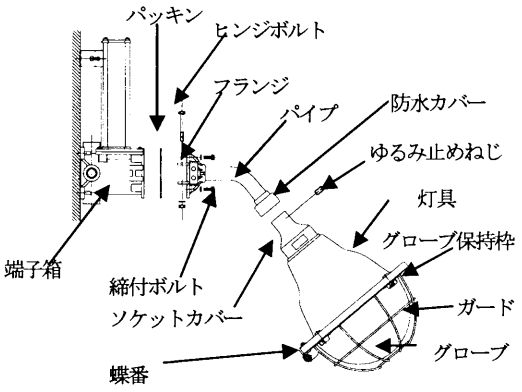
■各部のなまえ

●この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますのでお求めの器具と姿図が違っている場合があります。

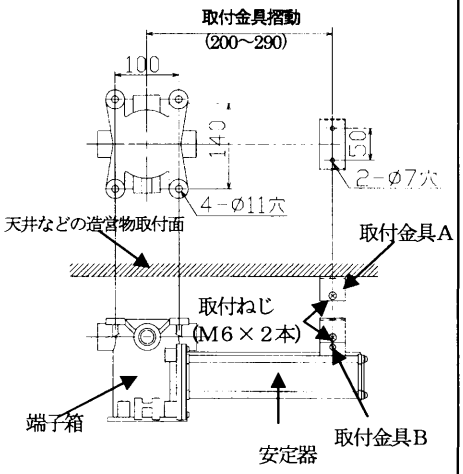
パイプ吊り（直付）



ブラケット



安定器・端子箱取付図



■器具の取付けと結線のしかた

1．予めM6ボルトを造営物に埋め込み、取付金具Aと取付金具Bを連結している取付ねじM6×2本をはずしてください、次に取付金具Aの2－φ7穴にM6ボルトを通し平座金、バネ座金、ナット等で堅固に取り付けてください。

2．「安定器・端子箱取付図」を参考に予めM10ボルトを造営物に埋め込み、端子箱の4－φ11穴に通し平座金、バネ座金、ナット等で堅固に取り付けてください．次に1．で取り外したねじM6×2本を取付金具Aと取付金具Bが連結するように締付けてください。その際　取付金具Bは調節しやすいように摺動します。

3．端子箱の配管には、厚鋼電線管（G16・G22）を使用しJIS　B　0202に定める管用平行ねじを施し、ねじの有効部分で5山以上結合させ硬く締付けてください。（工場電気設備防爆指針を参照）
なお、配管しないハブ方出は付属のねじ蓋に必ず防水防錆処理をして蓋をしてください。

4．端子箱に外部電源線を引き込みアース線は端子箱のE（アース）部にねじで止めて下さい。

5．安定器電線（白・黒）と外部からの電源線とを結線し、結線箇所はテーピング等で完全に絶縁処理を行って下さい。
注）安定器電線（白）はランプソケット器具からの口出線（白）と外部電源との共用線となっています。（下記配線図参照）

6．器具の取り付準備として、器具からの口出線をパイプに通し、ソケットカバーに止まるまでパイプをソケットカバーへねじ込んでください　器具の向きなどの調整は器具取り付けの最後に行なってください　下記11．12を参照

7．フランジのヒンジ部と端子箱のヒンジ部を合わせ、ヒンジボルトを通しナットで硬く締め付けてください

8．端子箱とフランジ間に　パッキンを取付けてください　その際　フランジに4本の締付けボルトを差込みパッキンを落ちないように仮取付けしてください

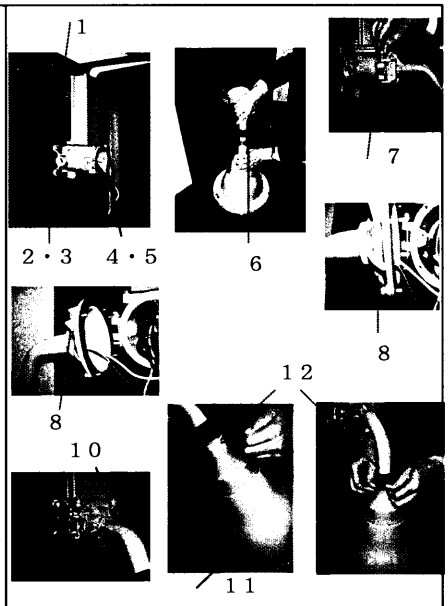
9．ランプソケット器具からの口出線（黒）は安定器電線（青）と結線をしてください。もう片方の（白）は安定器電線（白）と外部電源の共通電線と結線してください。アース線（緑）は端子箱に引き込み端子箱のE（アース）部にねじで止めて下さい。結線箇所はテーピング等で完全に絶縁処理を行って下さい。

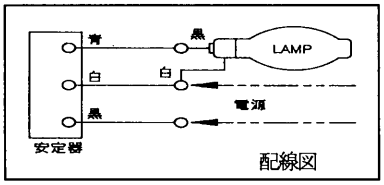
10．端子箱とフランジの締付ボルトを六角棒スパナで硬く締付けて下さい。

11．ブラケットの場合、灯具の蝶番が下になる位置に合わせてください　また、パイプ吊り（直付）の場合はランプ交換時を考慮し蝶番位置を調整してください

12．ソケットカバー側面に付いているゆるみ止めねじを締付け、防水カバーをソケットカバー部へかぶせてください

- 取り付に不備がありますと落下の原因となります。
- 口出線の結線が不完全な場合には、接触不良による発熱、火災、爆発の原因になります。
- アース線の接続が不完全な場合には、感電の原因になります。
- 端子箱と電線管ねじ結合部分の防水処理、防錆処理が不完全な場合端子箱に浸水し絶縁不良による発熱、火災、爆発の原因になります。
- グローブパッキン、本体結合部分にゴミ等が付着したままグローブ保持枠を取り付たり、不完全なグローブ保持枠の取り付ですと防爆性能が維持できません。そのまま使用しますと火災、爆発の原因になります。





配線図

■ランプの取り付けかた（交換のしかた）

1．器具の電源が切れていることを確認してください
2．グローブ保持枠の六角穴付きボルトを六角棒スパナでゆるめてグローブ保持枠を開いてください。写真A・B
3．ランプを取外し、交換の適合ランプを確実に取り付けてください　写真C
4．グローブ保持枠に付いているパッキン及び、本体結合部分にゴミなどが付着していない事を確認してからグローブ保持枠をもと通り取り付けてください。

●適合ランプ以外を使用しますと、ランプ、安定器・器具などの短寿命、火災・爆発の原因となります。
●不点となったランプは早めに交換してください

写真　A　　写真　B　　写真　C

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター
フリーダイヤル 0120-66-1048
受付時間：365日　9：00～20：00
携帯電話・PHSなど 046-861-6485（通話料：有料）
FAX　0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　施設・屋外事業部　〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1　TEL(046)862-2092　FAX(046)861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

(0050047C)

<生産完了 2012年01月01日>
SEN1825-22CL(2／2)